



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Follow Your Rotary Dream

「ロータリーの夢を追い続けよう」

1998～99年度・国際ロータリーテーマ/ジェームス・レイシー会長

「明かるいクラブと豊かな人生」

1998～99年度・東京新南ロータリークラブテーマ/宮武 保義会長

本日の例会 10月2日 第578回例会

創立12周年記念例会

卓話

「ロータリーについて思うこと」

当クラブ初代会長

第2750地区パストガバナー 田辺 賢三君

先週報告 9月25日 第577回例会

◎幹事報告

- 1) 9月27日(日)風の子会・車いすサポートボランティア「障害者は外に出よう」にご参加の皆様、よろしくお願ひします。
- 2) 「97-98年度年次報告」をお配りしました。是非一通りお目を通して下さい。

◎委員会報告

☆親睦委員会(小原健委員長)

- 1) 10月6日の火曜会は「アメリカ最新事情」と題して渡部一元会員がパネラーを務めます。ご参加をお待ちします。
- 2) 10月3日4日の家族旅行会の名簿をお配りしました。確認ください。

☆新会員の会(Consigny 委員)

「新会員・友もあ会」のメンバーの皆さん、第2回親睦会(9月30日)の出欠の連絡をお願いします。

◎出席報告

- 会員73名/出席51名・欠席22名(出席規定免除者3名)
- ビジター5名(敬称略・順不同) 矢野弾(東京世田谷)、関水和武、河本義正、矢橋信雄、子安敏三(以上東京南)

次週予告 10月9日 第579回例会

卓話予定

「旅と色」

多摩美術大学教授

日本画家

中野 嘉之氏



9月25日/10件 30,000円
98～99年度累計 505,000円
多額のご寄付を有難うございます。
(順不同敬称略)

宮武保義/本日のクラブ・フォーラム宜しくお願ひします。清原元輔/櫻井明子先生、本日のフォーラムに講師をお願い出来た事は幸せです。どうぞよろしくお願い申し上げます。馬場一廣/今日はさわやかな風が吹いていい気分です。フォーラムを期待しています。関 征春/ご無沙汰してます。横浜は強いですね!!小杉修造/メーキャップが3回続きました。田中 武/しばらく欠席致しました。谷 義一/皆様お久しぶりです。先週は数週間遅れで誕生祝いありがとうございました。小湊雅亮/今期はじめて欠席しました。佐々木忠行/岩瀬さんのニコニコ顔に。佐藤さん、いつも写真有難うございます。岩瀬秀郎/本日は代理のニコニコをつとめさせていただきます。

10月行事予定

10月は 職業奉仕月間
米 山 月 間 です

- 2日(金) クラブ創立12周年記念例会
(1986年10月3日創立)
10月定例理事会 例会後 13:40～15:00
東京全日空ホテル 1F 孔雀の間
- 3日(土) ～4日(日) 秋の親睦旅行
(親睦活動・職業奉仕委員会共催)
鳴門海峡大橋・明石海峡大橋と
神戸・六甲山への旅
- 6日(火) 火曜会 18:00～19:30
東京全日空ホテル 37F アストラル
- 7日(水) 第2回千代田分区会長・幹事会
大手町倶楽部 18:00～
- 16日(金) 第3回クラブ協議会 例会後 13:40～15:00
東京全日空ホテル B1 八雲の間
テーマ「見直そう、ロータリーの職業奉仕」
- 30日(金) 工場見学会と親睦会
(職業奉仕・環境保全・親睦活動委員会共催)
例会後(13:20) ホテル出発→富士ゼロックス海老名事業所[工場見学]→横浜中華街順海閣[親睦会]→横浜駅→東京(21:30)



櫻井明子氏

◎卓話

「今、教育の現場から」
元港区立高陵中学校校長
前港区教育センター研究員
櫻井明子氏

◎櫻井明子氏を囲んで懇談

フォーラムはまず宮武会長から新世代月間として、若い人達(30代以下)をロータリアンがどのように支援してゆくのかを考えてみようとの挨拶で始まった。続いて司会には川鍋会員があたり、清原会員から櫻井氏がリベラルで決断力に優れた港区初の女性中学校長であるとの紹介があった。

櫻井明子氏の卓話の要旨

港区の中学は生徒数2,203名で5年前からは605名も減少している。公立中学校は8校であるが、生徒数100名以下が2校あり、最小は53名、最大でも468名である。学級編成は1学年1クラスのみの中中学校が3校もあり、最も少ないクラスでは男15人女5人程度の規模となっている。

現在教育改革ということで週5日制を目指して大幅な修学時間短縮や週単位のカリキュラム変更の動きが出てきており、現場サイドでは困惑しているのが現状である。週単位のカリキュラムが組めない科目がでてきたり、選択科目の授業時間が増えてそれをどう消化するのかとか、「総合的学習」をどう組み立てるのかと云った様々な問題に直面している。

方向としては個性の尊重、生徒の自主的選択の拡大、心の豊かさや生涯学習を目指す等間違っていないと思うが、実際に現場で当てはめる段階では非常に難しい。

又世間では「全て入試制度が悪い」という固定観念が強いのだが、現実には自分の力に尽きたところであれば高校入学は100%問題は無くなっている。私が昭和30年頃教員になった時とは様変わりしている。

生徒数減少の影響はかなり深刻なものがあり、1クラスだけだと反りの合わない生徒同士を学級編成の際に別けることも出来ない。先生にとっても下調べの時間が増大し、負担が大きくなってきている。

家庭における少子化は昔なら兄弟げんかを通して覚える处世術が身につかずイジメの避け方も知らない生徒が多い。又港中のクレゾール事件でもあれだけの準備を家庭でしているのに親が気づいていない。

子供達の最大の問題は「善悪の区別」がはっきりと理解できていないことだと思う。親が親身になって子供のことを助けてやらない。物質的には豊かでも、精神的にはストリートチルドレン化していると言う精神科医もいる。

その他、環境、パソコン、国際理解の為の教育も少しずつ取り入れられ、教育の現場は多岐に変化してきている。

だが、これらの教育改革が現場に充分理解され浸透して、きちんと機能しているかどうかについては私も心から心配している。

引き続き質疑応答・懇談に入った。発言の要旨は次の通り。
清原会員(地域社会調査委員長)

当委員会では、『教育とボランティア』を今年度の調査テーマとして活動しています。

本日のクラブフォーラムには、教育と言う切り口から、新世代のためにロータリアンがお手伝いできることは何かがあるか、を知ることのヒントが得られるのではないかと期待しています。

年度内には港区教育委員会を訪問し、『教育はボランティアの対象となり得るか。』を調査して皆様にご報告したいと考えております。

吉田会員(ロータリー情報副委員長)

新世代月間とは、30才迄の、児童・青少年・若年層の育成を支援する全てのロータリー活動に焦点を当てるために、青少年活動月間に代わって、1996年2月のR.I.理事会会で指定された月間。

30才迄の若い人達の育成を支援するロータリー活動とは、新世代会議の開催、ロータリー青少年指導者育成プログラム(RYLA)、ローターアクト、インターアクト、青少年交換等々の活動をいう。

1996～97年度ルイス・ジアイRI会長のテーマは、「築け未来を！一行動力と先見の眼」でした。21世紀という新しい世紀が間近に迫ってきた。この新しい世紀を担う若い人達を育成することが、ロータリアンの責務であり、未来を築くことになる。それには、先見力を持った行動が必要だといわれ、新世代月間を提唱されました。この意味で新世代とは21世紀を担う世代の事をいうので、「新世代のための月間」という言葉も、21世紀がはじまって、ある程度経てば、元の青少年活動月間に戻るということになるのかも知れません。

Q: 田辺会員 「日本語の乱れについて」

A: 櫻井氏 自己表現の手段として、又憂さ晴らしとしてその様な傾向にあるが、要は生徒達がきちんとTPOをわきまえているかどうかだと思う。

Q: 新保会員 「登校拒否について」

A: 櫻井氏 背景には学校に行かなくても良いんだよという価値観の変化がある。子供がわがままになって確かに登校拒否の数は増加の傾向にある。然しながら中には大検合格を果たして親からも感謝されるようなケースもあり、長い目で暖かくフォローするのが必要である。

Q: 青野会員 「善悪の判断は大人が平気で嘘をつく現代社会の問題でもあるのでは」

A: 櫻井氏 注意すると「僕だけじゃない。誰それ君もやっている」と責任逃れをする。折に触れ具体的に指導してゆくのが重要と思っている。

最後に宮武会長から講師への感謝と活発な討議が出来たことを嬉しく思うと共に、教育の難しさと大切さを痛感したとの締めくくりがなされ、成功裡に第1回クラブフォーラムを閉会した。

(開発 まとめ)

東京新南ロータリークラブ

会長: 宮武保義 副会長: 小澁雅亮 幹事: 大日方真
〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004

例会日: 毎週金曜日 12時30分

例会場: 東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111

<会報委員>

田中 武、小杉 眞史、小原 渉、
開発 英基、柴田 尚毅、大山 啓人、
T. CONSIGNY、水原信太郎、谷 義一、
金光 圭一、大村 富俊、村山 公士
(編集担当順)